

平成 28 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

**事業名: 自然素材ウッドチップ舗装による木材利用の促進****団体名: 一般社団法人 間伐材ウッドチップ舗装協会****事業の目的・内容**

社団法人間伐材ウッドチップ舗装協会が管理するウッドチップを使用した遊歩道作成の特許技術を、一般的な施工技術として普及させることにより、秩父産の木材の安定的な利用を図る。

地方自治体や企業、各種団体を対象に施工講習を行うことにより技術の普及活動を行い、秩父産の木材を使用できる窓口を関東中心に全国規模に拡大する。

**今までの活動状況**

28年4月に羽生市の保育園で採用され、その後、施工講習を行い継続的に施工面積を増やしている。新技術のため、施工コストが非常に高いのだが、保育園の職員を交えて、自分たちで楽しみながら作成しているので、負担が少なく喜んでいただいている。

28年10月21、22日に東秩父「和紙の里」道の駅移転に採用され、施工講習を実施し、地元の業者に施工をしていただいた。埼玉県産の木材を有効活用する目的に合わせて、多くの人の目に触れられる場所に実績を残すことが出来た。

**これからの活動・行事**

気温が5℃を下回ると、工事が出来ないため、冬期は施工を行えないが、2月に寒冷期の施工実験1回と3月に2件の施工講習を予定している。施工講習により、新たに工事を行なう人が増える見込みなので、より普及が進むと思われる。秩父産の木材を使用できるアウトプットが、関東近郊に広まることを目指す。

「森の活人」から受けている補助は、今年度はまだ使用していないが、2月、3月の施工実験と施工講習に使用させて板だ事と考えている。